

核兵器禁止条約実現へ歴史的チャンス

2017年へ、「ヒバクシャ国際署名」行動を県下各地で

時津町 庁舎玄関ロビーに署名コーナー、広報「とぎつ」、HPで協力呼びかけ。

県原水協も事務局団体である「ヒバクシャ国際署名」長崎県民の会は、12月1日時津町を訪問しました。被爆者で長崎の呼びかけ人の川野浩一さん、被災協の森内實さんら5名が、森達也副町長へ「ヒバクシャ国際署名」について、町長の賛同人就任と自治体の職員並びに住民への周知について要請をしました。平均年齢80歳をこえたヒバクシャの最後のお願いであり、生きているうちに実現をほしいと思う。被爆地は長崎市だけでなく時津町も被爆地だ。隣の長与町に避難してきた元気な若者が体から汚物を全部下すようにして次々と目の前で亡くなっていった。火葬すらできず穴を掘って埋めた。この悲惨さを風化させないで伝えてほしい。署名は「原爆」を伝え、地球に住む人々が生き地獄を体験しないために、立場や考え方を超えて取り組むべきだとお願いしました。

森達也副町長は「庁舎ロビーには署名コーナーを設置し、町のホームページや、広報誌で協力を呼びかけている。」と町としての取り組みを紹介してくれました。「署名」の広がりに参加者は感激。12月2日には「県民の会」として長与町を訪問し要請行動を行いました。

「県民の会」は毎月26日は定例の署名行動にしています。

「ヒバクシャ国際署名」行動を県下各地で

県原水協として2017年「核兵器禁止条約の交渉開始成功」へ向けて、地域・団体の県下各地での、自主的に創意ある署名行動を呼びかけます。3月の核兵器禁止条約交渉会議、5月のNPT準備委員会、6-7月の交渉会議、秋の国連総会をめざして、世論と運動の飛躍のため「ヒバクシャ国際署名」を大きく発展させましょう。



12月6日、長崎県原水協は恵の丘長崎原爆ホームと長崎原爆病院を訪問し、年末のお見舞金をお届けしました。見舞金は毎年、全国から寄せられた被爆者援護・連帯募金より、これまでの核兵器廃絶の運動に奮闘された被爆者の健康を願い届けています。

恵の丘原爆ホームには大橋常任理事と佐藤事務局長が堤房代施設長や被爆者の方と懇談し、原爆病院では大矢代表理事、中島常任理事が平野明喜院長と懇談し、それぞれ「ヒバクシャ国際署名」の協力の要請を行いました。

広報

とぎつ

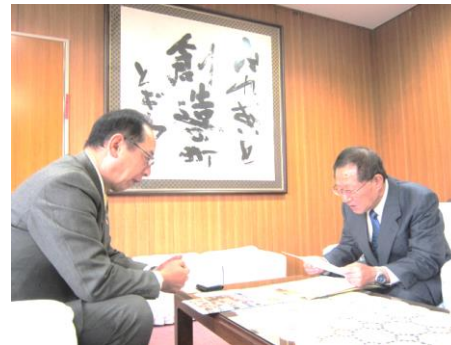
TOGITSU COMMUNICATION PAPER



平成28年12月

12

Vol.588



▼問い合わせ先
時津町役場企画財政課
(TEL 8082-2211)

役場からのお知らせ 2016.December



「ヒバクシャ国際署名」に「協力ください！」

企画財政課(内線432)

「ヒバクシャ国際署名」とは、ヒロシマ・ナガサキの被爆者がすみやかな核兵器廃絶を願い、核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことを求める署名運動です。集められた署名は、核兵器禁止条約が議論されている国連総会に毎年届けられます。

本町もこの訴えに賛同し、署名簿を設置しておりますので、町民の皆さまの協力をお願いします。

▼設置期限：12月22日(木)

▼設置場所：時津町役場本庁舎2階ロビー

☆2017年九州・沖縄ブロック原水協学校 in 沖縄ご案内 1月20日(金)～22日(日)

【20日(金)】長崎空港11:20発 ⇒ 13:00那覇空港着 13:30出発貸し切りバスにて高江へ、その後辺野古へ(車中で基地問題学習会)
19:00:ホテルにて夕食交流会(名護平和委員会メンバーと交流)
<名護宿泊> ホテルサンコースト(沖縄県名護市字幸喜108番地 Tel.0980-53-0330)

【21日(土)】8:30;名護出発(嘉手納、普天間、沖縄国際大学ヘリ墜落現場、嘉数高台公園など巡り)豊見城社協にて学習会
14:00～17:00 学習「核廃絶をめぐる国際情勢と『ヒバクシャ国際署名』」
講師:高草木博 日本原水協代表理事
終了後那覇市内まで移動(タクシーを使う)自由行動
<那覇宿泊> ホテル未定

【22日(日)】 9:30～11:30 不屈館にて学習
「沖縄の歴史、文化、沖縄戦」 講師:内村千尋 不屈館館長
「対馬丸記念館」見学など
帰路 那覇空港15:20 ⇒ 16:45長崎着

参加費 58,200円(貸し切りバス料金参加者数で少し変動あり)
航空券往復31,200円 沖縄での費用27,000円
(講師謝礼、資料代、バス代、ホテル代など)



核兵器のない平和で公正な世界を 原水爆禁止長崎県協議会

Gensuikyo news 2016/12/07

〒850-0035 長崎市元船町5-11-402 TEL 095-895-9106 FAX 095-895-9102